

Stage Up

生涯学習情報誌
ステージ・アップ
2009年8月1日発行
隔月発行・通巻No.169
小誌はホームページからも見られます

もくじ

- 2 まち・ひと・多面体
- 3 シニアのパレット
- 4 特集 かわさき市民アカデミー
後期受講生募集
- 6 施設めぐり
- 7 情報ポケット



岡本太郎 「こどもの樹」1985年（繊維強化プラスチック）
川崎市岡本太郎美術館蔵

誌上ギャラリー

この作品は、東京・渋谷の「こどもの城」の前庭に設置されている《こどもの樹》の原型です。
岡本太郎（1911～1996年）は、子どもたちの造形活動に深い関心を寄せ、子どもたちの造形に關して様々な活動をしました。作品から飛び出すいくつもの顔は、それぞれが表情豊かに語りかけてくるようです。子どもたちが個性を発揮し、のびのびと自由に生きる姿を、岡本太郎はこの作品に表したのだと思います。

川崎市岡本太郎美術館
開館10周年記念展『岡本太郎の絵画』
後期 7月9日（木）～9月23日（水）



(財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
TEL 044 (733) 5560(代) / FAX 044 (739) 0085

<http://www.kpal.or.jp/>
ステージ・アップ TEL 044 (733) 5811
E-メール: stage-up@kpal.or.jp

当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するため諸事業を推進しています。

まち・ひと・多面体

地域やグループ等のユニークな活動や注目すべき地域課題への取組みの成果などを紹介します。

星空を見に行きませんか？

星空ゆうゆう散歩 —シニア向け投影—

川崎市青少年科学館

今年「世界天文年」です。ガリレオが望遠鏡で宇宙を観察してから400年。あなたは、今年になって何回空を見上げたでしょうか？街の灯りが多くなり、夜空を見上げてても都会で見ることができる星は数えるほどで、子どもの頃に見た星空には程遠い状態です。しかし、生田緑地の川崎市青少年科学館プラネタリウムでは、いつでも満天の星空を見ることができます。

ここ、川崎市青少年科学館のプラネタリウムでは年間5回、シニア向け投影として「星空ゆうゆう散歩」が行われています。第1回目の5月14日は、「南極の星空」が投影されました。この「星空ゆうゆう散歩」は自らを「プラネタリウム弁士」と呼ぶ河原郁夫（かわはら いくお）さん（78歳）がCDの選曲・台本の製作・当日の操作を一人で行っています。

「毎朝、自宅で太陽を観測することが元気の源」とおっしゃる河原さんは、



2001年閉館した渋谷「五島プラネタリウム」で、建設の準備段階の1956

年から事業に参加され、専門である太陽の研究をしながらプラネタリウムでの解説をしてきました。神奈川県立青少年センターを経て、ここ川崎市青少年科学館での解説まで53年間。プラネタリウムがいつも一緒でした。現在も週4回プラネタリウム弁士として活躍しています。



近頃のプラネタリウムは、コンピューター化が進み、録音解説が一般的になり、驚くような映像が飛び出すようになりましたが、ここでは河原さんの穏やかな語りと手作業による操作で、時の流れがゆったりしています。「星空ゆうゆう散歩は、午後の憩いのひと時をゆっくりと楽しんでもらいたい」と、音楽を多目にして解説は控えめにしているそうです。

「きれいな夕焼けです。このぶんですと、あしたも天気がいいでしょう。もっとも、プラネタリウムは1年中晴れております。」モーツァルトの調べと優しい語り口。緩やかな時間を過ごしにいらしゃいませんか。

次回「星空ゆうゆう散歩」—シニア向け投影—

第3回「中秋の名月」

9月10日(木) 13:00~14:15

問合せ：川崎市青少年科学館 ☎044-922-4731

サイエンスカフェ

神奈川県立川崎図書館

「サイエンス（科学）」と聞いただけで「苦手・難しそう」と思っている方も多いと思いますが、そんな方でも気軽に参加できるのがサイエンスカフェです。科学者と参加者が飲み物を片手に、気軽に科学について話し合うコミュニケーションの場で、大学や公共機関だけでなく、街中のカフェでも行われています。

4月19日に神奈川県立川崎図書館で行われたサイエンスカフェは、「ニセ科学の見破り方教えます」というテーマで、左巻健男（さまき たけお）さん（法政大学生命科学部教授）をゲストスピーカー（話し手）に迎えて行われました。

街中にある宣伝文句や商品に「マイナスイオン・ゲルマニウム・トルマリン」といった言葉をよく見かけませんか？メディアで紹介された物が「はたしてどういう理論で何に



良いのか？」と考えるよりも前に言葉だけが流行語になり、分からないまま生活に入ってきます。「『科学はわからないけれど、信頼できるもの』という人の心を利用して、ニセ科学ビジネスがまん延してきています。科学の専門家から見ても科学とは呼べないものでも『科学のように見える』ことで商品が高額でも売れるのです。」と左巻さんは言います。講義の後のフリートーク・質疑応答では参加者の方々が積極的に発言され、身近な疑問が多数質問されました。



日常生活で科学の専門家の話を聞くチャンスも少なく、難しい話を聞きに行くのはそれなりの覚悟が必要です。小さな疑問を解決することもついつい先延ばしになってしまうものです。サイエンスカフェはそんな身近な科学の話ができる場です。日頃自分が考えている事と違った視点で物事を考える事や、疑問解消の良い機会になるのではないかと、参加してみて思いました。

次回のサイエンスカフェは

「月の残された謎、その起源に迫る（仮題）」

9月5日(土) 14時~

問合せ：神奈川県立川崎図書館 ☎044-233-4537

蕎麦打ちが人をつなぐ!

幸市民館市民自主企画事業



幸市民館の調理室で、エプロン姿で会話を弾ませながら楽しそうに蕎麦打ちをしている人たちがいます。この人たちは、68歳の方を筆頭に男性8名女性3名のグループで、平成20年度に幸市民館シニアの社会参加支援事業として開催された「さいわい蕎麦塾」に参加した人たちです。

どの方も手際よく準備し、見事な手さばきで粉を混ぜ合わせながら作業を進めています。「女の人は、力が足りないのよ」と言いながらも、理想的な耳たぶぐらいの硬さにこね上げている女性。蕎麦打ちの姿が妙に絵になっている男性。マイ包丁を持参した人は、見事な包丁さばきで蕎麦を切り、名人芸を見せてくれました。特別に茹でてくれた手打ち蕎麦は、程よい硬さで蕎麦の香りが漂う見事な味でした。

今、市内では、ご自身の仕事に一区切りをつけた団塊の人たちや時間に余裕ができてきたシニア世代のために、様々な企画や講座が計画されています。昨年度行われたこの「さいわい蕎麦塾」も、蕎麦打ちの体験を通して同世代の仲間と交流し、身につけた技を活かして子どもたちの指導や地域のイベントへの参加等、地域で楽しむ充実したセカンドライフを探すべきことを目的として行われました。

この塾に参加した人たちは、地域の祭りやフェスタ、障がいのある人たちの社会・地域参加の支援などのボランティアとして活躍しています。また、家庭でも蕎麦を打って、お孫さんから「おいしいよ、そばだいすき。」と言われ、大変嬉しい思いをしている人もいます。

代表の瀬戸盛悦(せと もりえつ)さんは、「外に出るのが好きでなかったが、今では時間が足りないほど出ています。」と話してくれました。今年度は、自主グループ「さいわい蕎麦塾」を結成、幸市民館に企画提案して市民自主企画事業「さいわい蕎麦塾～蕎麦打ちで地域にデビュー～」を7月に開講しました。

さいわい蕎麦塾のみなさんは、企画事業の準備の話し合いの中で、市民農園で育てているネギの活用や千葉で栽培しようとする蕎麦など、夢を大きく膨らませています。



(企画事業準備会)

花と緑の町づくりを!

辻町ガーデんクラブ

幸区南加瀬付近の市道をしばらく歩いていると、色とりどりの花が太陽の光を受け鮮やかに輝いている空間がありました。ここは、道路拡張整備途中で長い間そのままになっている歩道の一角に花壇が造られ、辺り一帯が明るく温かい感じのする場所となっていました。この花壇は、辻町を潤いのある住みよい町にするために、辻町町会が幸区へ花壇の設置を申請して、平成16年の暮れにオープンした辻町ガーデンです。

辻町ガーデンは、広告看板製作でかわさきマイスターに選ばれた浅水屋甫(あさみずや はじめ)さんが看板を寄贈し、町内会、生産組合・JAなどの協力を得て順調に滑り出しました。「花と緑とさいわい」を合言葉に事業を進めている幸区も、区民の皆さんの緑化意識の高揚と明るい区づくりのため、花壇の自主管理を行っている緑化団体に、年2回の花苗の提供をしています。



この辻町ガーデんクラブの発足に当たっては、会長の新堀安一(しんぼり やすかず)さん(写真)が1軒1軒に声をかけて花壇の運営管理に携わってくれる人を募りました。なるべく多くの人に参加して欲しかった新堀さんでしたが、趣旨を理解して直ぐに応じてくれた人、逆にそうでなかった人と様々でした。現在、日常的な世話は、19名のクラブ会員が、2日間交代で水遣りや清掃、除草などを行い、とてもきれいに管理されています。新堀さんは、「花の苗を植え替えるときは、作業終了後、その場で青空総会を開くのですよ。」と楽しそうに話してくれました。暑い時や寒い時の世話も、通学途中の子どもたちを楽しませたり地域の人たちに「きれいですね。」「ごくろうさまです。」などと声をかけられたりすることで、充分報われているそうです。また、町内会総会の場でも、辻町ガーデンのことが紹介されたことがあり、会員の励みとなっているようです。

幸区には、辻町ガーデンのように様々な空間を活用して市民が運営する花壇が26ヶ所ほどあり(市内では約250団体)、住民に憩いと安らぎを与えています。

川崎市では、公共性の高い場所に花壇づくりや緑化などを行い、年間を通して維持管理を行う団体に対して、緑化に関わる補助や支援を行っています。

詳細は、(財)川崎市公園緑地協会の「緑の活動支援課」にお問い合わせください。

★問合せ：緑の活動支援課 ☎711-6631

シニアのパレット

シニアに視点を当てて

耳よりな情報取材しました。

特集 かわさき市民アカデミー

学ぶ喜び 深まる生き方 広がる友の輪 2009年度後期受講生募集

かわさき市民アカデミーは、市民が生涯にわたる学習と社会参加を通して積極的に生きることを支援し、活力ある地域社会の創造をめざす市民のための学習機会を提供しています。1993年の創設以来、他に類のない多彩な講座を開設してきました。

今学期は、**エクセレントコース**の第2弾「世界を旅するロシア・ツアー」や、生命科学の最先端の研究者が講座・

ワークショップ (WS) 連続して登壇する**いのちの科学コース**、交響楽について学び曲を楽しく聴ける**音楽コース**

(WS-6) など、多くの講座を実施します。この秋、新しい学びに挑戦してみませんか。



09年度前期ワークショップ「音楽」(ミューザ川崎に於いて)

2009年度後期開設講座・ワークショップ(WS)一覧 2009年9月～2010年3月

曜日	No.	コース名	開始時刻	会場	講座・ワークショップ名	講師名	定員	受講料
月	1	美術I	10:30	高津市民館	印象派は面白い! 色彩・女性・ジャポニスムをめぐって	美術史家 宮崎 克己	200名	会 員: 7,000円 聴 講 生: 10,000円
	2	人間学	10:30	生涯学習プラザ	現代人の怯え	哲学者 内山 節	80名	会 員: 7,000円 聴 講 生: 10,000円
	WS-1	人間学	13:00	生涯学習プラザ	食と暮らしの戦後史 —食を通して新しいライフスタイルを探る	元東京大学教授 牧 柁名ほか	30名	10,000円
	3	国際関係	10:30	生涯学習プラザ	多文化国家アメリカの外交 —多様なネットワークを考える	東京女子大学教授 油井 大三郎ほか	140名	会 員: 7,000円 聴 講 生: 10,000円
	WS-2	国際関係	13:00	生涯学習プラザ	多文化国家アメリカの外交 —ワークショップ	東京大学大学院博士課程 戸田山 祐	30名	10,000円
	4	政治・社会	13:00	生涯学習プラザ	多文化主義とデモクラシー —イギリスと日本の比較を通して	東京女子大学名誉教授 佐久間 孝正	140名	会 員: 7,000円 聴 講 生: 10,000円
	WS-3	政治・社会	15:00	生涯学習プラザ	市民社会を求めて —日本とヨーロッパの議論を読む	法政大学教授 宮島 喬	30名	10,000円
	5	音楽I	13:30	高津市民館	伝説と物語の音楽	邦楽研究家 竹内 道敬	200名	会 員: 7,000円 聴 講 生: 10,000円
A	夜間講座	18:30	生涯学習プラザ	メディアの公共性を問う	東京大学情報学環教授 吉見 俊哉ほか	40名	5,500円	
火	6	日本史	10:30	生涯学習プラザ	南北朝動乱の時代を生きた人々	東京大学教授 近藤 成一	140名	会 員: 7,000円 聴 講 生: 10,000円
	WS-4	日本史	13:15	生涯学習プラザ	『太平記』を読む	前駒澤大学講師 角田 朋彦	35名	6,000円
	7	いのちの科学	10:30	生涯学習プラザ	広がる生命科学	東京大学教授 山本 正幸ほか	80名	会 員: 7,000円 聴 講 生: 10,000円
	WS-5	いのちの科学	13:00	生涯学習プラザ	生命科学の多様な世界	元NHKプロデューサー 林 勝彦ほか	40名	10,000円
	8	社会福祉	10:30	生涯学習プラザ	現代日本の社会福祉 —歴史、現状、思想 II	金城学院大学特任教授 副田 義也	70名	会 員: 7,000円 聴 講 生: 10,000円
	9	みどり学I	13:30	生涯学習プラザ 野外	みどり学I	樹木医 石井 誠治ほか	90名	会 員: 7,000円 聴 講 生: 10,000円
	WS-6	音 楽	14:00	ミューザ川崎	東京交響楽団が案内する 交響楽の楽しみ方	東京交響楽団メンバーほか	150名	13,000円
B	夜間講座	18:30	麻生市民館	古典芸能への誘い —人形浄瑠璃・文楽の魅力	東京成徳大学教授 金丸 和子	40名	5,500円	
水	10	美術II	10:00	新百合21ビル	聖書と美術	多摩美術大学教授 秦 剛平	300名	会 員: 7,000円 聴 講 生: 10,000円
	WS-7	美 術	13:30	新百合21ビル	ヨーロッパの異端 スペイン美術への旅	早稲田大学教授 大高 保二郎	45名	8,000円
	11	自然 (川崎学II)	10:30	生涯学習プラザ 野外	自然を友とするために	桜美林大学名誉教授 三島 次郎ほか	40名	会 員: 7,000円 聴 講 生: 10,000円
	12	文 学	10:30	生涯学習プラザ	夏目漱石—私の読み方	早稲田大学教授 石原 千秋ほか	70名	会 員: 7,000円 聴 講 生: 10,000円

申込・受付について

- ◆受講対象 18歳以上の方（市外の方も受講できます）
- ◆受講料 各講座・ワークショップ(WS)の一覧表参照
- ◆申込
- 郵便はがき・FAXまたは前期講座内で配布する受講申込書
- (1)アカデミー会員の方は所属コース名を、会員ではない方は「聴講生希望」と記入
- (2)受講したい講座・ワークショップ名（複数受講可）
- (3)名前（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号（FAXがある方）
- 後期は新規会員の募集はありません。
- ◆締め切り
- 聴講生 **8月17日（月）必着**
- ☆アカデミー会員については締め切りましたが、まだ定員に達していない講座もありますので、お問い合わせください。

◆申込・問合せ先

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
 (財)川崎市生涯学習財団 事業推進室 かわさき市民アカデミー担当
 TEL: 044-733-6626 (平日 9:00~17:00)
 FAX: 044-733-6697
 財団ホームページ <http://www.kpal.or.jp/>

◆ご注意

- 受講の可否、受講手続き、費用の払込については、締切後2週間くらいまでに文書でお知らせいたします。
- 先着順ではありません。応募者多数の場合は抽選（会員優先）になります
- 応募受講生が少ない講座、ワークショップは中止になることがあります。
- 受講生（会員・聴講生）に講座運営のお手伝いをお願いすることがあります。
- 個人情報の取り扱いは、(財)川崎市生涯学習財団個人情報保護管理要綱に準拠します。

2009年度後期開設講座・ワークショップ(WS)一覧 2009年9月~2010年3月

曜日	No.	コース名	開始時間	会場	講座・ワークショップ名	講師名	定員	受講料
水	WS-8	文学	13:15	生涯学習プラザ	藤沢周平の主要作をジャンル別に精読する 2	早稲田大学教授 高橋 敏夫	30名	7,000円
	13	ボランティアII	13:00	生涯学習プラザ	傾聴ボランティア養成講座	NPO法人ホールファミリーケア協会	42名	会員: 7,000円 聴講生: 10,000円
	14	エクセレント	10:30	生涯学習プラザ	世界を旅する②ロシア・ツアー	一橋大学名誉教授 中村 喜和ほか	140名	会員: 7,000円 聴講生: 10,000円
	WS-9	まち歩き(川崎学A)	13:30	生涯学習プラザ 野外	変わりゆく川崎を歩く	東京大学大学院博士課程 三浦 伸也ほか	40名	10,000円
	C	夜間講座	18:00	生涯学習プラザ	水彩画を描く—技法を基本から学ぶ	NHK文化センター講師 佐藤 道子	25名	会員: 7,000円 聴講生: 10,000円
木	15	暮らしの中の科学	10:30	生涯学習プラザ 野外	乗り物の科学II	東京大学名誉教授 東 昭 ほか	140名	会員: 14,000円 聴講生: 20,000円
	16	環境とみどり	10:15	生涯学習プラザ 野外	低炭素社会、そして循環型社会の深化を	東京大学名誉教授 太田 猛彦ほか	70名	会員: 7,000円 聴講生: 10,000円
	WS-10	環境とみどり	13:15	生涯学習プラザ 野外	持続可能な社会を目指して—環境政策を考える	東京大学名誉教授 太田 猛彦ほか	30名	9,000円
	17	現代事情	10:30	生涯学習プラザ	金融恐慌の歴史を考える	東京大学教授 伊藤 正直ほか	50名	会員: 4,000円 聴講生: 5,500円
	18	音楽II	10:40	新百合21ビル	モーツァルトの音楽と手紙等の資料で時代を読み解く(その二:ウィーン時代)	日本モーツァルト研究所所長 海老澤 敏	300名	会員: 7,000円 聴講生: 10,000円
	19	音楽III	14:00	新百合21ビル	「ジプシー」と呼ばれた人々と音楽	国立音楽大学准教授 横井 雅子	300名	会員: 7,000円 聴講生: 10,000円
	WS-11	カウンセリング	13:15	麻生市民館	カウンセリングを学ぶ—カール・ロジャーズを読む	日本女子大学桜楓学園講師 薬品 好恵	25名	10,000円
金	20	世界史	10:30	生涯学習プラザ	19世紀から20世紀の世界史—革命と戦争の時代	上智大学名誉教授 中井 晶夫	140名	会員: 7,000円 聴講生: 10,000円
	21	みどり学II	10:30	生涯学習プラザ 野外	みどり学II	樹木医 石井 誠治ほか	80名	会員: 7,000円 聴講生: 10,000円
	WS-12	みどり学II	13:15	生涯学習プラザ 野外	みどり社会貢献ウォーミングアップ講座	樹木医 石井 誠治ほか	30名	7,000円
	22	経済	13:00	生涯学習プラザ	15年戦争と戦後史—新しい研究から真実を掘り起こす	一橋大学名誉教授 中村 政則ほか	140名	会員: 7,000円 聴講生: 10,000円
	WS-13	経済	15:00	生涯学習プラザ	世界同時不況下のアジアと日本	東京大学教授 伊藤 正直	30名	10,000円
	23	映像・メディア	13:00	生涯学習プラザ	テレビの自粛性と過剰性—報道とドキュメンタリー制作の現場	フリーディレクター 村井 明日香ほか	80名	会員: 7,000円 聴講生: 10,000円
土	24	歴史(川崎学I)	10:30	生涯学習プラザ	川崎の歴史入門	中央大学教授 松尾 正人ほか	70名	会員: 7,000円 聴講生: 10,000円
	WS-14	まちづくり(川崎学B)	13:30	生涯学習プラザ 野外	安全・安心まちづくりワークショップ その2	東京大学大学院助教 加藤 孝明ほか	40名	10,000円
	a	特別講座	10:30	生涯学習プラザ	シニアルネサンス	(財)シニアルネサンス財団事務局長 河合 和ほか	40名	3,500円
	b	特別講座	13:30	生涯学習プラザ 他	日本の伝統文化—着物の魅力をさぐる	中原区文化協会副会長 高島 厚子ほか	40名	3,500円

施設めぐり

財団が管理運営する施設をご紹介します

市民の生涯スポーツを支えるスポーツセンター

宮前スポーツセンター

～生涯スポーツへの始めの一步～

宮前スポーツセンターの運営にあたり3年間は「スポーツ振興」と「利用率の増加」を目標に、地域の皆様に親しみを持っていただけるスポーツセンターをめざしてまいりました。4年目に入るにあたり、急速に進む少子高齢化社会に目を向け、今年度の事業の見直しを行うことになりました。

特に今年度は、未就園児や未就学児も対象にした親子スポーツ教室を開催する予定です。年齢に応じた運動を取り入れることで偏りのない発育・発達に貢献していこうという取り組みです。きっと、生涯にわたってスポーツに親しむ基礎ともなり、「生涯スポーツ」への始めの一步になるものと思います。

ところである日、事務所に中高年の方から問い合わせがありました。「団体を作りたいのだが、初めてなのでどうすればいいのか分からない」「団体を作った場合、何に注意すればよいのか？」との内容でした。話をよく聞くと、自ら団体を立ち上げて、当館を中心に活動を始めたいという意向でした。

これもある意味で「生涯スポーツ」への始めの一步です。利用案内をしながら、当館もこの団体が活動しやすくなるよう、少人数でも手軽に利用できるように、施設の「設備配置換え」を行い、更に指導者向けの「AED講習会」への参加やスポーツ保険についてなどのアドバイスを行いました。

生涯スポーツにどうかかわっていくか、多種多様であると思いますが「時には前を歩き、道を教え、時には足元を照らし注意をうながせる存在でありたい」と考えています。私たちスタッフは、たくさん団体を見てまいりました。少しですが、団体育成にあたっての知恵ももっております。

どうぞ気軽に声をかけてください。私たちは誠意をもって対応していきたいと考えております。



★問合せ ☎044-976-6350

麻生スポーツセンター

麻生スポーツセンターも今年の6月で24年目を迎え、今まで以上に利用者の方々の声を大切にして、さらによりよいスポーツセンターになるよう努力していきたいと館長以下9人のスタッフ一同思っています。

～スポーツ教室をとおして生涯スポーツの礎を～

例年主催事業として春・秋・冬に2種目のスポーツ教室を開催しております。春は親子スポーツ教室、真向法（まっこうほう）体操、秋は気功太極拳と卓球、冬はストレッチ体操とバウンドテニスとなっています。全て10回開催となっており、親子スポーツ教室の対象が、3・4歳児及び保護者となっている以外は、全ての教室が15歳以上となっています。

また、今年度の10月には小学生を対象にした無料開放を計画し、小学生の運動に親しむ機会を増やし、スポーツと触れ合う場を提供していく予定です。

こうしたスポーツ教室をとおして、生涯にわたってスポーツに親しむ市民が、ますます増えることを願っています。

秋のスポーツ教室募集

- ☆気功太極拳 10:00～11:30
- ☆卓球 14:00～16:00
- ◆募集: 8月18日(火)より
- ◆申込: 往復はがき
〒215-0021 麻生区上麻生3-6-1
麻生スポーツセンター
- ※詳しくは麻生スポーツセンターまで
- ★問合せ ☎044-951-1234

春のスポーツ教室



親子
スポーツ
教室



真向法
体操

川崎市有馬・野川生涯学習支援施設オープン



記念のくす玉割り

地域の願いと
夢を乗せて



和太鼓による記念演奏



柿落とし「ひがさ他」

開館記念式典 ～学びと市民活動の拠点に～

5月9日、開館記念式典で、阿部孝夫市長をはじめ関係者や小学生・中学生の代表により、地域住民の願いと夢を乗せ、掛け声とともにくす玉が割られました。市長は、「住民の願いによって出来たこの施設を、身近な親しまれる施設として、学習活動や文化・芸術活動、町づくりや市民活動のため、多くの市民の皆様にご利用いただきたい。」と話されました。

オープニングイベント (5月14日～16日)

様々な地域活動を視野に入れて建てられた有馬・野川学習支援施設では、5月18日の一般開放に先立ち、施設内のそれぞれの空間を利用してオープニングイベントが開催され、来館者の夢を膨らませました。



◆実生から育てたタマノカンアオイを記念植樹

「この建物に息を吹き込むのは皆様方であり、子どもから大人まで、地域の方のコミュニケーションの場となっしてほしい」という財団理事長の挨拶の後、鈴木賢さん(写真右)が、実生から育てられたタマノカンアオイを植樹しました。この植物は、自然豊かであった頃のこの地の希少な植物であり、有馬中学校の「校歌や校章」にも入っています。

◆夢広がる空間 ～施設の活用を地域とともに～

当施設の3階には、ふれあいネットで登録した市民団体が利用できる実習室、調理室、和室、学習室があり、2階には軽音楽演奏なども行える集会室、地域の方が様々な活動に利用できるグループ室や作業室、談話をしたり作品を飾ったりすることのできるフリースペースがあります。1階の図書室は、誰でも利用することができ、児童書を中心に現在6千冊が並び、市立図書館の蔵書も取り寄せることができます。

平澤太郎館長は「施設をつくるにあたっては、機能や運営方針などについて地域住民と話し合いを重ねて、声を取り入れながら準備を進めてきましたが、活用についても地域と一緒に考えていきたい」と抱負を語っています。

情報ポケット

財団主催の各種講座のご案内やお知らせ

パソコンセミナー受講生募集

パソコンの基礎から応用まで幅広く講座を開催します。申込締切日を過ぎても空いている場合もありますので、詳しくはお問い合わせください。

講座名	講座No	開催日	受講料	申込締切
デジタル画像編集処理	8-A	8/18 (火)	5,000円	8/4 (火)
Word・Excel復習(演習)	8-B	8/20 (木)	6,500円	8/6 (木)
オンラインアルバム作成	8-C	8/21 (金)	5,000円	8/7 (金)
ゆっくりじっくりWord入門「夜間」	8-D	8/21 (金)・25 (火)	5,000円	8/7 (金)
ゆっくりじっくりパソコンセミナー	8-E	8/25 (火)・9/1 (火)・11 (金)・25 (金)・29 (火)	25,000円	8/11 (火)
パソコンステップアップ	8-F	8/26 (水)・27 (木)	13,000円	8/12 (水)

○受講時間…10:00～16:00(昼食休憩1時間あり) ※但し、8-Dは 18:00～20:30

○対象…18歳以上

○会場…川崎市生涯学習プラザ 3階研修室

○申込…はがき・Fax・電話で。

はがき・Faxの場合は、希望講座No、〒、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、Fax番号、年齢、受講目的を明記

〒211-0064 中原区今井南町514-1 生涯学習プラザ内 川崎市生涯学習財団 事業推進室

□問合せ 事業推進室 ☎ 044-733-5894 Fax 733-6697

サンデー・マガジンのDNA ～週刊少年漫画誌の50年～

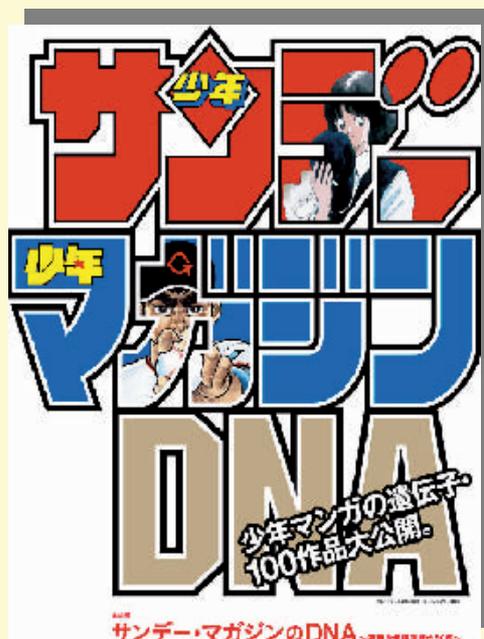
川崎市市民ミュージアム 企画展

2009年7月18日(土)～9月13日(日)

この展覧会は、1959年に同時創刊された講談社「週刊少年マガジン」、小学館「週刊少年サンデー」の50年史を紐解くものです。

「週刊少年マガジン」「週刊少年サンデー」は単なる雑誌という存在を超えて、互いを意識しながら数多くの名作を生み出し、連載作品の単行本化や兄弟誌の創刊、テレビ化・アニメ化の流れを作るなど、子供～青年文化形成の大きなエンジンとして働きました。「マガジン」と「サンデー」の歩んだ50年とは、戦後日本の視聴覚文化の核となった「週刊少年漫画誌」史50年であり、その視聴覚文化が現代を生きる私たちの美意識・文化意識を形成してきた大きな要因であることを考えると、今日の文化・芸術状況に対して非常に大きな示唆をはらんでいると言えるでしょう。

この展覧会では代表作 100 作品の原画や時代年表のほか、両誌のバトルから生み出された「ボクシング」「ラブコメ」「野球」などの各要素を「DNA」として抽出し、それらが文化や広く社会に与えた影響を検証します。本展は、少年漫画の豊饒な魅力を提示すると共に、漫画というメディアが作り出す可能性を見いだす絶好の機会となります。



場 所：川崎市市民ミュージアム 企画展示室2

〒211-0052 川崎市中原区等々力1-2

電話 044-754-4500

時 間：午前9時30分～午後5時まで(入館は4時30分)

休館日：月曜日(7月20日は開館) *7月21日(火)休館

観覧料：一般800円、学生・65歳以上500円、中学生以下は無料 ※年齢の分かるものを提示



コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社 [http:// www.cccj.co.jp](http://www.cccj.co.jp)

COCA-COLA CENTRAL JAPAN CO., LTD. <コカ・コーラ指定会社> Coca-Colaは The Coca-Cola Company の登録商標です。

